

第7投目：尾長シーズン釣り納め釣行

4月は奄美磯釣連盟第4回大会期間、ぜひとも大会にエントリーを・・・と数回磯に通いましたが私のクロ釣果はゼロ。なんか4月って毎年クロの釣果が少ないような気がします。なんとか1枚でもという気持ちの中、4月某日、クラブメンバー3名と渡船に乗り込み西側海域への釣行です。



夕離れ近辺に到着しましたが前日まで吹いていた北西風による北からのうねりが残り、A級磯であるM瀬には渡れません。波が落ちるのを待つ間、私ともう一人のメンバー2名でK瀬に降りることにしました。

最近いまいちクロの釣果が少ないK瀬でしたが、乗った人の話を聞くと姿は見えたとのこと。仕掛けをセットした後、さっそく撒き餌をしながら海の様子を観察します。

撒き餌を始めて15分、一緒に降りたメンバーがキワに一瞬クロらしい魚影を見つけまし

た。ただ、そこは表面の払い出しが強く仕掛けが入りにくい場所、見えた場所ではなく仕掛けが入る場所で攻めてみます。キワ沿いに流れる潮に風の影響でキワから仕掛けが離されないようにライン操作しながら流し込んでいくこと10分、餌取りばかりだった表層に良型の魚が浮いた一瞬の時合でした！私のウキが斜めに入っていくクロがヒット。午前7:30分、44cmでしたが幸先良く1枚目です。ただ大会へのエントリー基準は45cm以上、このサイズでは納得いきません。

それから1時間後、別の場所で撒き餌をしていると、キワから体半分だけ出して高速でオキアミを喰い戻った魚が見えました。あの動きはおそらくクロ？別の場所に置いていた竿を取りに行き、1投目・当て潮 撒き餌 キワへの吸い込まれ潮 ドンピシャでした。数回の突っ込みをかわし、多少緊張しながらタモ入れしたサイズは49cm！これでなんとか今日の目的は達成です。

さらに1時間後、少し下げ潮が強くなり、沖のシモリ付近でできるサラシのぶつかりに潜る潮が鮮明になってきました。その縦流れの潮を重点的に攻めているとまたしても良型の魚が浮く時合が！イスズミ、サンノジ、あれはテングハギモドキ？？そこでヒットさせた3枚目のクロは沖目だったため姿こそははっきりとは見えませんがやはりその潜り潮=Super Flowでヒット！これは48cmでした。

上げ潮に変わった午後にも1枚追加し、この日は計4枚の釣果。ただ、1日4枚出る磯ならもっと数を出せたはず・・・今後の課題ですね。これで満足しては今後の成長はありません。

でもまあ、大会にエントリーするという当初の目的はなんとか達成。シーズンの釣り納めとしてはうまくまとまりました（笑）

